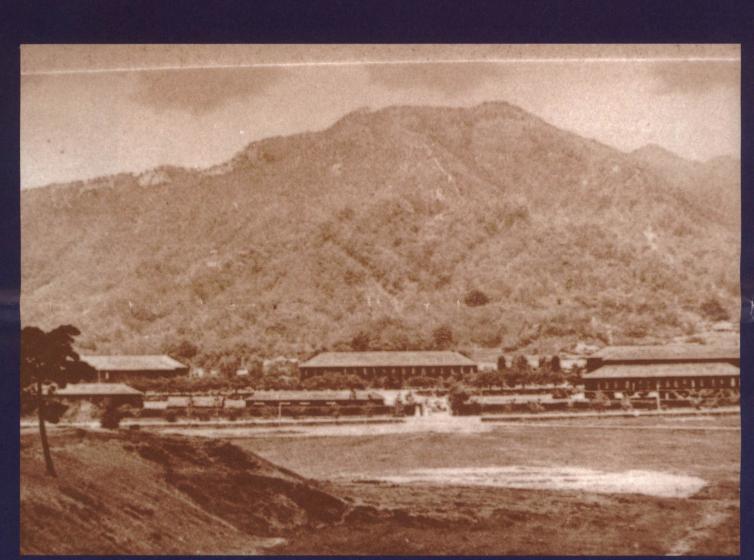


一神戸大学農学部創立50周年記念特別号—

No.13



盃山を背にした兵庫農科大学全景

C - O - N - T - E - N - T - S

「六篠会会長挨拶」新家 龍2
「神戸大学農学部創立50周年を迎えて」加藤 征史郎2
「六篠会50周年の歩み」西川 欣一3
「六篠会記念事業骨子固まる」王子 善清4
農学部創立50周年記念事業の日程・会場・内容等4
「農学部創立50周年記念講義のご報告」辻 荘一4
「農学部50周年記念講演会について」団野源一5
「発祥の地(篠山)における学術講演会開催のお知らせ」
山本博昭5

50年が経過して	、卒業生は今一	支部の便り―	(
六篠会の支部設置	置及び運営に関	する規定	····· ·
「篠山今昔」岡澤	秀晃		
平成9年度同窓会	:報告		
平成9年度決算執	设告書·平成10	年度予算	
神戸大学農学部教	效官現員表		9
同窓会名簿住所等	等変更者		10
不明者一覧			1
寄付者名簿			12

六篠会会長挨拶 龍

はじめに

六篠会の皆様には益々ご

元にお送りしております神 謝しております。既にお手 えることになります。 5月には創立50周年を迎 力頂いておりますことを感 慶び申し上げます。日頃は 健勝にてご活躍のこととお 尸大学農学部創立50周年の すように、来る平成11年 八篠会の発展のためにご尽 記念事業趣意書」にありま

考慮・準備中の皆様には、 御礼申し上げます。また、 募金活動に参画頂いており のご賛同をいただき、既に ます。会員の皆様には多数 し、既に実行に移しており ための「募金活動」を企画 で、本記念事業を遂行する 設立しました。この委員会 記念事業を企画・実行する を頂きますようお願い申し 同頂き、農学部・六篠会の 今回の記念事業に是非ご替 ます。この場を借りて厚く 「記念事業実行委員会」を 層の発展のためにご協力 大学農学部と共催でこの このため、六篠会では神

創立50周年を迎えて

謝と敬意を表したいと思い 係各位のご尽力に改めて感 残された教職員をはじめ関 ありました。この50年に 期大学部の併設、国立移管 講座増設、兵庫農科大学短 た。振り返れば、学科及び 41年には神戸大学への年 大学と名称変更され、昭和 設された兵庫県立農科大学 わたる発展の歴史に足跡を 置等々、めざましい発展が 士課程並びに博士課程の設 に伴う新学科編成、さらに 神戸大学農学部となりまし 次的国立移管が開始され は、昭和27年に兵庫農科 神戸大学における大学院修 昭和24年篠山の地に創

分野における活躍のニュー 再発足致しました。現在約 短期大学、神戸大学農学部 統合され、兵庫農科大学、 を契機に「六篠会」として スを耳にする度に心弾む思 おります。六篠会会員の各 のそれぞれ卒業生を含めて 6000名の会員を数えて いが致します。六篠会がこ 一方、同窓会は国立移管

助とご協力を頂きますよう う声があります。今回、こ ます。どうかわが農学部の のことを解消する一助とし 室が直ぐに分からないと云 自分の専攻した学科や研究 や名称等の変更があって、 の農学部の学科・講座編成 篠会会員の中には、卒業後 びたいと思います。唯、六 お願いする次第であります。 発展を見守り、益々のご援 配布する準備を進めており 子を作成し、会員の皆様に ますことを皆様とともに喜 過去の経緯が分かる冊

六篠会支部活動について

業生の会「六篠Z会」が神 産学科・応用動物学科の卒 催され、正式に発足致しま 関東支部」の設立総会が開 10年7月11日に「六篠会 れ活発な活動が続けられて として、兵庫県の「県六篠 戸市で開催されました。こ きました。さらに、平成 六篠会」及び酒類関係の 会」、神戸市の「KOBE した。これに加えて最近畜 これまで、六篠会の支部 「延喜会」があり、それぞ

のように益々発展しており

おわりに

りも大切であり、且つ農学 学農学部創立50周年に関 る平成11年5月の神戸大 ねてお願い申し上げます。 念しつつご挨拶と致します 益々のご発展とご健勝を祈 各位のさらなるご協力を重 えております。どうか会員 ために是非必要であると考 部と六篠会の将来の発展の 標額を達成することが何よ に編成されております。つ する記念事業の内容を中心 きましては、募金活動の目 今回の六篠会会報は、 終わりに、会員各位の

念事業会へ金一封が寄付さ 親睦を一層深める機会が多 会本部との繋がりを密にし 各支部の活動を通じて六篠 があります。このように、 を中心にした九州支部など 戸大学の農学部支部、熊本 が予想される支部として神 れております。今後、設立 の六篠Z会から50周年記 くなることを期待しており 六篠会会員相互の情報交換

> 篠会会員の皆様のご理解 血の滲むようなご努力と六 すべては、先輩諸先生方の 感謝いたしております。 ご支援の賜であり、心から しつづけてきました。その

成11年にめでたく創立50

神戸大学農学部は、平

神戸大学農学部創立50周年を迎えて

農学部長 加藤征史郎

史」に詳しく記述されてい での経緯は、20年の足跡 完了した国立移管に至るま 昭和41年に始まり44年に は容易に想像できます。農 決して平坦でなかったこと ことですから、その道程が ましても、昭和24年、 周年を迎えることになりま であったかを知ることがで いかに壮大で、困難な事業 照らしてみると、それらが を記録した「兵庫農科大学 科大学開学の前後の様子や 大学として開学して以来の 紀郡篠山町に兵庫県立農科 した。一口に50年といい ますが、当時の社会状況に に祝いたいと考え、昨年度 ともに慶び、厳粛かつ盛大 どもは、この節目を皆様と とって大きな節目です。私 参加いただきますよう改め うかこの記念事業に是非ご 生方、会員の皆様には、ど の内容は、別稿に詳述され ました。企画した記念事業 会とともに準備を進めてき 当初から六篠会の記念事業 ている通りです。先輩諸先 てお願い申し上げます。 創立50周年は、学部に

研究科の第二次改組が進行 56年には農・工・理学部 院農学研究科が、また昭和 もなく、昭和47年に大学 きます。その後、息つく間 部は、創立以来着実に発展 中です。このように、本学 た。そして現在、自然科学 6年には農学・理学・工学 社会環境の変化に対応すべ 平成5年には農学の進展や 学研究科が設置されました 士前期課程が設置されまし あらたに自然科学研究科博 を母体とする大学院自然科 く農学部が改組され、平成 多くの成金が生まれたよう 中で幾多の困難はあるにし ています。そして、現下の けられていると本気で思っ 学部は、少なくとも国内で のです。今年度最初の教官 の機会と、私は思っている さらなる飛躍のための絶好 に、わが農学部にとっては 全国的、世界的経済不況の ある学部になるべく運命づ は一二を争う優れた特色の でもあります。神戸大学農 次の飛躍を期待させる節目 ても、戦後の闇市の中から 会議で次のようなことを先 創立50周年は、学部の

研究科を改組・統合して、

その礎を築きたいのです。 冠たる学部にしたいのです

第

は、

国際交流の

特別コースが計画されてい て、外国人留学生のための 回のお願いも、動機は同じ

したこともありました。今 レーOKなどと軽率に公言

です。わが農学部を世界に

て、成果が徐々に現れつつ 幸い、おおかたの理解を得

報に書きました。また、目 れば、躊躇することなく外 私は、本学部から誰でもよ 国を含む学外に人材を求め の際に適任者がいないとな なりません。しかし、人事 供し、世界に通用する研究 留学の機会をできる限り提 な学生や若手教官には勉学 果によって決まると信じて あるいは学部の優劣は、も ことです。私は、学部の質 立つこと結構、スタンドプ ようなことを既刊の六篠会 体を刺激して欲しいという は慎重に、しかし迅速にと なければなりません。人事 者に育ってもらわなければ や研究に好適な環境や海外 います。したがって、有望 て欲しい。そして、学部全 いから突出する人が出てき いうこともお願いしました っぱら教官一人ひとりの働 その第一は、教官人事の つまり教育と研究の成

生方にお願いいたしました。 の推進です。国際協力事業

団(JICA)が主催する3 州立大学および中国農業大 結び、学生や情報を交換し 年7、8名受け入れている たり、共同研究を行うこと 他方、外国の大学と協定を 品の一つとなっています。 学部の国際貢献の代 表例 ことは、よくご存知と思い 発途上国の若手研究者を毎 つの集団研修コースに協力 大学(ブルガリア)との提携 になってプロブディフ農業 ばれていましたが、今年度 方の努力によりワシントン 員会と交流実績のある先生 都合の良い方策でもありま を推し進めるための一つの あり、また本学部の個性化 学部としては当然のことで として自画自賛する目玉商 ます。この受け入れは、本 来日しています。今後はべ も成立し、留学生も何人か 学との間で姉妹校提携が結 す。すでに学部国際交流委 は、国際都市神戸にある農 し、それぞれのコースで開

10月の開設に向けて準備 取得させるコースで、来年 象として英語で授業と研究 作業を急いでいます。 指導を行い、博士の学位を

ます。これは、留学生を対

在り方、その具体化につい をより緊密にすべく県下の 行うとともに、部分的には の会合を開き、情報交換を ることは、重要な使命の 学部とはいえ、地域社会の て協議しています。 神戸市等の自治体、農業団 置され、兵庫県のみならず 部長の諮問機関的性格を持 携の強化です。国立大学農 つ地域連携推進委員会が設 も取り入れることになりま 農業施設の視察・研修など たが、今年からはこの関係 共同研究も実施してきまし とは数年前から年2、3回 つです。兵庫県農林水産部 産業や文化の振興に貢献す した。また、今年度から学 第三は、地域社会との連 民間企業等との連携の

りますよう切にお願い申し 後ともご協力、ご支援を賜 端を表明させていただきま の謝意とあらたな決意の 50周年を迎えて、先人へ ることを願っています。 記念式典等でお目に掛かれ ます記念講義や来年5月の 上げます。間もなく始まり した。会員の皆様には、今 この稿では、農学部創立

六篠会前会長 西川欣

は、まだ敗戦の虚脱から抜 庫農科大学が創設されたの とであった。 けきらぬ昭和二十四年のこ たり兵庫農大…」(学歌) しき理想かざして 生まれ 篠山の西北、盃山のふも 「丹波路や 多紀高原に新 旧陸軍七○連隊跡に兵 である。 開学時、農学科一学科で

部、農学部となった二つの のである。というのは戦後 な関係にあったと言えるだ 学部はそもそも兄弟のよう ことになったからである。 引き継ぐかたちで誕生した 学の予科も終わりを告げる 止が決定され、旧制医科大 し、旧制度による大学の廃 三年四月に新制大学が発足 の学制改革により昭和二十 神戸医科大学の予科の後を 実は当時篠山の地にあった くの新設校として創設され たと思われがちであるが、 後にセットで国立移管さ 兵庫農大は前身のない全 それぞれ神戸大学医学

生は金ボタンの学生服に角 養部を兼担されていた。予 授陣は医大予科と農大の教 が同じ篠山学舎に学び、教 時はまだ医大予科の二年生 高下駄という旧制高校スタ 科生は白線帽に黒マント、 イルであるのに対し、農大 農大一回生が入学した当

帽といった出で立ちであっ 科生を羨ましがらせたもの た。当時は大学生のシンボ ルが角帽であったので、予

のスタートとなった。 産学科が増設された。一、 過程の教授陣の充実と共に 科と農芸化学科に分かれた スタートした農大は、専門 一回生は各自の希望で農学 一年後には農芸化学科と畜 畜産学科は三回生から

四十二年前期は神大農学

ウィークに篠山の「魚米」 会員名簿」として統合され 始まり、数年して「同窓会 者名簿の小冊子の発行から 従って初めは学科別の卒業 を置き運営することとした 三十年五月のゴールデン・ 心となって設立した。昭和 業し、三学科の卒業生が揃 で結成式をあげ、当面は各 ったのを機会に一回生が中 学科ごとに会計係と名簿係 さて同窓会は三回生が卒

六篠会への改称

の時代であった。即ち四十 神戸大学農学部の二枚看板 月から四十四年三月までの 兵庫農大は昭和四十一年四 三年計画で国立移管され神 大学農学部となったがこ その後幾多の曲折を経て 一年間は兵庫農科大学と

移管を完了した。 残すのみとなり、農学部学 り、農大生は百五十四名を 翌年三月、農大第十七回卒 せて四百六十五名となった 生は一、二、三回生を合わ 学としての最終年次にあた 業式(最終)を挙行して国立

化している。 現在まで六篠会として一本 として学究生活を続け、同 あいあいの裡に先輩、 は二枚看板時代ではあった 窓会も兵庫農大一回生から が学生間相互は親密で和気 この国立移管中の二年間

篠山学舎で学んだ。同年十 ける最後の卒業式となった われ、これが篠山学舎にお 学び、農大生は従来どおり 五回卒業式が篠山学舎で行 一回生)は六甲教養学舎で 年度新入生(神大農学部

卒業式も農学部C一〇一号 ととなった。農大第十六回 全学年の講義が行われるこ その結果後期から六甲台で よる大移転作戦が行われた 日間にわたってトラックに 学舎が完成、同十月に二十 篠山学舎で勉学したが同年 部の一、二年生は六甲教養 学舎で、農大三、四年生は 九月に六甲台に現農学部新

教室でとり行われた。 四十三年度は兵庫農科大

◆創立二十五周年行事

記念会員名簿を発行した。 科大学史(同窓会版)の出版 称すると共に、以後五年毎 なお総会に先立ち、兵庫農 を決議し、創立二十五周年 に記念事業を実施すること いて、会名を「六篠会」と改 と卒業生への配付を行った 二十五周年記念総会に於

◆創立三十周年行事

ばゆいばかりの中、記念式 典と「マテバシイ」(待てば 椎になるの意味を持ち、 まれ、会場を包む新緑がま 当日は雲一つない好天に恵 昭和五十四年五月十九日

窓会総会を開催し、名称を たが、創立二十五周年に同 動も一時空白の時期があっ 大学紛争時代で、同窓会活 大学に吹き荒れたいわゆる 国立移管前後は、全国の ショ保存会による歌と踊り 山町から駆けつけたデカン で雰囲気が盛り上がり、篠 ラスによって幕が開けられ 若々しいオープニングコー 喬木) の記念植樹に続いて を表しているブナ科の常緑 スナロ同様に将来への希望 れた。神大グリークラブの 六篠会主催の園遊会が行わ 「神大学生歌」「農大学歌」

農業短期大同窓会「鶴陵 現在の「六篠会」に改称した。 管前に吸収合併した、県立 ったことにプラス、国立移 時農学部が五学科体制であ たもので、「六」には更に当 大発祥の地、篠山から取っ 六甲台から、「篠」は兵庫農 「六」は神戸大学の所在地、 組)「六篠会名簿」の三点 学部の四季」(絵葉書八枚 学部三十年のあゆみ」「農 品として六篠会は写真集「農 会となった。 で一層和やかで活気溢れる なお創立三十周年の記念

◆創立三十五年行事

会」を加えた六部会の意味

も込められている。

記念事業

執り行われた。 の卒業生が集まり、盛大に 月十九日に現地篠山に多数 十二日に、除幕式は翌年五 竣工式は昭和五十八年七月 立されたことである。その 学部発祥の地記念碑が篠山 の旧キャンパス正門前に建 昭和五十九年の創立三十

杭焼酒器セット」「六篠会 地としての歴史を今に残り あり」は神大農学部の発祥 名簿」を発行した。 ている。六篠会は記念品と して「記念碑絵はがき」「立 碑文「我等が青春ここに

◆新制神大四十周年行事

であったがようやく機が孰 従来は六篠会単独の事業

> し、四十周年は神戸大学全 念講演会、園遊会が六甲台 元年五月十五日、式典と記 学合同の行事となり、平成

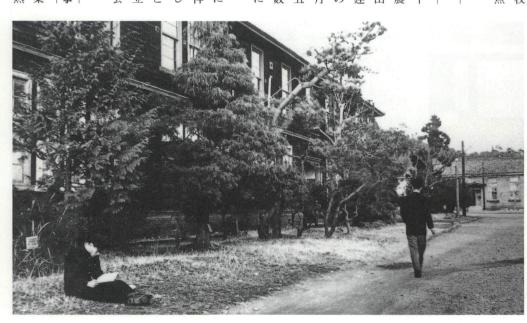
◆神大創立九十周年行事

場で記念式典が行われ、引 五月十五日、神戸国際会議 の設立基盤とし、平成四年 経営、法学部)を神戸大学 た。祝賀会のハイライトは テルに移し祝賀会が催され き続き会場をポートピアホ た官立神戸高商(現経済 明治三十五年に設立され

で開催された。 発表されたことであった。 かった神大に新校歌が誕生 今まで「神大学生歌」しかな

◆農学部五十周年へ

絶大なるご協力とご参加を こととなった。六篠会員の 代議員制も整ったので、農 回六篠会も役員を一新し、 として出席していたが、今 同行事に同窓会役員が代表 窓会を全卒業生と共に祝う 学部独自の五十周年記念同 ここ十年間は神大全学合



付は記念事業終了までを期限 の折から誠に恐縮ですが、 位には深く感謝いたしますとと さっそく募金を頂きました冬 未納の方々には出費多端 送金には本会報に

以下の日程の通り創立50周年 の記念事業を学部と一体となっ 位のさらなる活躍に繋げてゆく 農学部の益々の発展と同窓生各 これらの難題の多くは今なお、 記念事業委員会を組織し

小和泉

美幸(A10) 孔庸(C8) 金五(乙5)

◆委員◆

杉本

豊増千鶴男(A5)

慨深いものがあります。しかし 目のあたりにして、 21世紀に解決すべき課題とし 長いたしました。母校の発展を の幾多の難題のなか、 ルモンの脅威等、この50年間 害問題、 で有する全国有数の学部へと成 六篠会では、この節目の年を 高度成長期の公 まことに感 博士課程

◆理事◆

神戸大学農学部創立50周年

ねてお願い申し上げます。 込みをお済ませ頂きますよう重 事務手続きの都合上、 善清までお願いします。 会記念事業実行委員会代表王子 お問い合わせは50周年六篠

50周年六篠会記念事業実行委員会代表 王子善清 農学部創立50周年 八篠会記念 募金活動中で協力を 業骨子固まる

農学部創立50周年記念事業の日程・会場・内容等

平義(C1)

順三(C1)

康夫(C2)

●1998年6月から記念事業完了まで

以下の記念事業実施のため募金活動中

個人:1口1万円(同封振込用紙利用可 1口以上)

内藤

親彦(*募金、A13

荘一(*記念講義、Z12

善清(*代表、祝賀会、C12 博昭(*発祥地講演会、A2 保幸(Z11) 兵衛(*植樹 士郎(C10)

良逸(*C13

郎(*C16)

暢一(*神C1

直彦(*神乙1)

正興(*神C3

法人:1口5万円(ご紹介下さい)

郵便振込先:加入者名「六篠会50周年記念事業会」

口座番号「00900-5-126170」

【創立50周年記念品の製作】

夢金協力者に郵送

- 「農学部の沿革と21世紀の農学研究」募金協力者に郵送 「記念冊子」

ますよう併せてお願い申し上げ もに、記念事業にご参加下さい 重ねてお願い申しあげますとと 成のための募金について格段の

同窓生各位には、記念事業達

こ高配・ご協力を賜りますよう

て行うことになりました。

源一(*特別講演会、C9 広信(*式典

昌伸(*記念品、C10)

祝賀園遊会参加者に当日配布

六篠会学術振興基金の充実――若手研究者の研究活動援助

●1998年10月6日(火)から10月9日(金)

【記念講義※】

「21世紀の農学」 神戸大学六甲台講堂

卒業生15名を講師とした在校生、一般向け講義

●1999年5月15日(土)13時から18時

義久(A6)

修(A9)

【記念式典】 -神戸大学農学部大講義室C101 来年3月頃再案内の予定 【記念特別講演会*】神戸大学農学部大講義室C101 現神戸大学長西塚泰美氏と

兵A11回卒業生 湯浅浩史氏の特別講演

神戸大学農学部前庭 【祝賀園遊会】——神戸大学農学部前庭

来年3月頃再案内の予定

●1999年6月6日(日)13時から17時

【農学部発祥地学術講演会*】 ――たんば田園交響ホール(兵庫県篠山町) 4人の演者による「21世紀への飛翔」―真の豊な暮らしを求めて―、 同窓生、一般向け講演会

*詳細はそれぞれの記事をご覧下さい。

■平成10年10月7日

9:00: 受講受付

同期会、クラス会の幹事様へ

メインイベントが開催される来年の5月15日(土)や6月6日(日)の篠山での学術講演会に 合わせて、クラス会等を企画下されば何かと好都合ではないでしょうか。

「卒業生の体験的国際協力から21世紀を見つめて」

15:10~16:40: 斎藤 昭、昭和53年(修士修了)、農林水産省食品流通局商業課、

9:20~10:50:渋谷 徹、昭和41年卒、食品薬品安全センター、秦野研究所、

野菜の国際的貿易の進展とわが国「卸売市場」に与える影響·評価

「国際化の進展と野菜流通システムの変貌

11:00~12:30: 辻 啓介、昭和39年卒、姫路工業大学環境人間学部

食品機能と健康一食物繊維の生理機能-

13:30~15:00:伊藤一幸、昭和48年卒、農水省農業環境技術研究所、

13:30~15:00:山田保、昭和44年卒、国際協力事業団、

「食品・医薬品の安全性」

「環境保全型稲作技術の構築」

農学部創立50周年記念講義のご報告

農学部創立50周年記念講義実行委員会委員長 辻 荘一

来春には、農学部創立50周年、記念事業が目白押しに待っておりますが、それに先 駆けて特別講義が10月6日~9日までの4日間、神戸大学六甲台講堂にて開講されました。 この講義は、卒業生の中から講師を選ばせていただき、学生に社会の第一線にて活躍 中の先輩の仕事の内容も含めて、講義してもらおうという企画であり、学生の将来と 関わる重要な講義と位置付け、企画しました。農学部では始めての企画であります。

講義は、別紙のようなスケジュールで行なわれましたが、受講者は総数452名[学生 346名、一般106名]で、講義は朝早くから夕方5時までみっちりと行なわれ、学生にと っては休む間も無い強行スケジュールの講義となりました。しかしながら、講義内容 は夫々極めて興味深いもので、日ごろ聞くことのできない、先輩たちの活躍振りに、

引き付けられて、欠席をした学生数もごく一部に限 られておりました。お蔭様で、盛況のうちに講義を 終了することが出来ました。立派なテキストも講師 の先生方の協力で、作成しましたので、来春の記念 事業の際に、お配り出来るものと考えております。 申し送れましたが、この講義には、卒業生の諸先輩 や恩氏の姿も見られ、意義深いもんであったと自 負しております。最後に本講義の開催に当たり、ご 協力頂いた教務学生掛りを始めとする事務職員の方々、 アルバイトの学生、更には実行委員の先生や講師紹 介の労をお取り頂いた先生方に厚く御礼申し上げ ます。来春には、篠山の地と六甲の2地区で記念講 演が開催されます。ご期待下さい。





15:10~16:40:中村直彦、昭和45年卒、神戸市緑農海浜公社

9:00: 受講受付

9:20~10:50:三本木一夫、昭和55年卒、UCC上島珈琲㈱、貿易事業本部 「コーヒ栽培の科学」

「都市型農業の未来、21世紀の農業はどうあるべきか」

11:00~12:30: 湯浅 浩史、昭和38年卒、進化生物学研究所、 「植物進化と地球環境」

13:30~15:00: 牛尾公平、昭和46年卒、ヒガシマル醤油㈱「醤油醸造と微生物」

15:10~16:40:新藤充宏、昭和39年卒、西宮酒造㈱「灘酒」

■平成10年10月9日

■平成10年10月8日

9:00:受講受付

9:20~10:50:小畑太郎、昭和44年卒、農水省農業生物資源研究所、 「わが国における農業生物資源の保存と利用、

特に動物遺伝資源について」

11:00~12:30:小前降美、昭和47年卒、農林水産省農業工学研究所、

「地下水の動態 一同位体を指標として一」

13:30~15:00: 井上理一、昭和46年卒、日本ポール(株)、 「バイオテクノロジーとフィルター」

15:10~16:40:山田久也、昭和53年卒、ヤンマー農機㈱中央技術研究所、 「苗生産技術の自動化・ロボット化ーその現状と展望―」

農学部創立50周年記念講義日程〈場所:神戸大学六甲台講堂〉

■平成10年10月6日

10:20: 受講受付、テキストの配布 10:45: 学部長挨拶と講義概要紹介

11:00~12:30:田中和夫、昭和49年卒、農林水産省、野菜・茶業試験場

久留米支場

「施設園芸の発展経過と今後の展望―野菜の高品質安定供給―」

50周 農学部創立50周年特別講演会実行委員会委員長 団野 年記念講演会について

源

会に、久しぶりに母校に訪 ている西塚学長と本学御出 念して、以下のとおり記念 演会の日程と各先生の講演 れてはいかがでしょうか 致しております。これを機 身の湯浅浩史先生にお願い 的にも第一線でご活躍され 講演会を開催する運びとな 内容と簡単なプロフィール ちしております。以下に講 皆様の多数のご参加を御待 ▼平成11年5月15日(土) 農学部創立50周年を記

記念式典に続いて約2時間 ルから21世紀を考える_ 湯浅浩史先生 (進化生物学研究所) :40 「島大陸マダガスカ

湯浅浩史先生の講演要旨と 西塚泰美先生 (神戸大学学長) 2:40 演題未定

プロフィール

かり、今や地球環境戦争と いえるくらいである。 積土壌の増大と、地球レベ 薪や家畜の過放牧による森 それに伴う焼畑、燃料用の ルでの環境悪化は拍車がか 林破壊、そして砂漠化、塩 毎年一億に近い人口爆発

という島が浮ぶ。島といっ ても人によっては第七の大 インド洋上にマダガスカル アフリカの東400㎞の

> 代のゴンドワナ大陸では西 不足、加えて導入された外 ひかれて足繁く通い、回数 壊が進み、紙、燃料、水が 年間の変化は激動的である は30を超えたが、ここ25 りはるかにスケールの大き の隔離によって固有生物の に位置し、数千万年前以上 に伐採され、急速な自然破 い進化の舞台の異端植物に 宝庫である。ガラパゴスよ ような国となっている。 人口は倍増、森林は加速的 で世界の環境問題の縮図の 来植物が跋扈こする。まる

食糧自給率30%以下とい る認識は低い。 後初めての飢えを知らない といわれるが、地球環境戦 いる。そして、その飽食が 四半世紀の生活を満喫して に築かれていることに対す 後方にあたる日本は、有兄 争の最前線でなく、いわば う危ない経済バランスの上 21世紀は地球人の世紀

和38年(1963年)兵庫 京農業大学博士課程修了。 農科大学卒。昭和43年東 てみたい。 どう進んでいくのか。考え 通して、21世紀をどう迎え は示唆に富む。プリズムを 1940年神戸生まれ。 むこうの国だが、その問題 [プロフィール] マダガスカル―遠い海の

陸と呼ぶくらい広い。古生 伝学、民族植物学。海外40 研究所主任研究員。東京農 農学博士。(財)進化生物学 ヒトのからだでは、莫大な 西塚泰美先生の紹介 花の万博記念奨励賞受賞。 ど多数。第3回松下幸之助 行』(日経サイエンス社)な 『マダガスカル異端植物紀 の履歴書』(講談社学術文 カ国で植物調査。著書に『花 学協会理事。専門は細胞遺 などで非常勤講師。日本科 庫)『植物と行事』(朝日選書)、

保っています。細胞間の連 中でも大きな空白でした。 伝わるのかは、生命科学の 面に届いた後、どのように 絡役として多岐多彩なホル 数の細胞が密接に連絡を取 して細胞内部にその情報が れらが標的になる細胞の表 モンが働いていますが、そ り合いながら日常の営みを 素C(PKC)を発見し、そ いた物質、蛋白質燐酸化酵 西塚学長は、鍵を握って

和4年に本学(医学部)に だされました。間もなく、 その過程で、PKCを見い 化反応の研究を進められ、 産です。各種の蛋白質燐酸 この研究は、西塚学長が昭 要を明らかにされました。 胞内での情報伝達機構の大 の役割を解明することで細 白質燐酸化反応の研究の所 赴任してから始められた蛋

東京都立科学技術大学 とが解明されています。

(六甲ひろば №2神戸大学

内分泌や老化現象など、医 生命現象の調節におよぶこ 割は脳神経系疾患、免疫疾 が契機となってPKCの役 されました。これらの研究 んに至らしめることが解明 きを不必要に長期間刺激し がん促進物質はPKCの働 またその途上、ある種の発 担うことが解明されました 多彩なホルモンの情報を細 らわすことがつきとめられ 質の作用をうけて機能をあ するジグリセリドという脂 刺激をうけて細胞膜に生成 この酵素はホルモンなどの 学生理学の非常に広範囲の て細胞増殖を起こし、発が - 分子として必須の役割を 心脈管系や血液疾患が

年の10年間、全科学領域 載されました。それらの論 ると米誌が報じています。 要学術誌に毎週40~50報 での総引用件数20、14 世界第1位(1980年代 の研究を抑えて引用件数が において、超伝導やエイズ 文は1981年~1990 5回にわたり集大成して掲 よび英国 Nature 」誌に前後 究成果を学術の最高権威誌 発表し、これらの膨大な研 3件)となっています。また である米国「Science」誌、 180編以上の英文論文を 1990年代の現在も、主 西塚学長は、過去10年間

> が、幸い神戸大学農学部 により検討して参りました 者を含めた数名の実行委員 王子副会長および篠山在住 との発案があり、新家会長 講演会を計画してはどうか 微力ながら尽くすべく学術 方への謝恩と啓蒙・発展に 発祥の地、篠山地域の皆様

地)における

学術講演会開催のお知らせ

農学部創立50周年記念行事 発祥地講演会実行委員長

山本博昭

学」として誕生した母校は な発展への出発点を迎えら 年四月から四町合併による 学部発祥の地篠山では、同 なりました。奇しくも、 立五十周年を迎えることに 成十一年度にはめでたく創 部」として発展し続け、平 国立移管後「神戸大学農学 の地に「兵庫県立農科大 新生篠山町」が誕生、新た 丹波篠山 篠山の地を訪れ、講演会と この機会に家族づれで是非 待ちし、ご案内申し上げま ない農学部会員の方々も、 れた同窓の方々、まだ一度 会会員の多数のご参加をお る事をお薦めします。六篠 に初夏の日曜日を過ごされ 素朴で美しい町並みの散策 も発祥の地を訪れたことの

発祥地学術講演会 創立五十周年記念 神戸大学農学部

れることとなり、私ども同

びであると存じます。 窓の輩にとっても二重の慶

六篠会では、この機会に

「二十一世紀への飛翔」 真に豊かな

暮らしを求めて

【講演者とテーマ】

松中昭一氏 前神戸大学農学部教授

雑草と人間

地元篠山町、篠山町商工会 以下の通りの講演会を開催 篠山町農協のご協力を得て 辻 啓介氏 環境人間学部教授 姫路工業大学 食と健康

保田 神戸大学農学部教授 生産者と消費者の共生 茂氏

〇辻 啓介氏

元市民の方々を対象として

講演の内容は主として地

いますが、篠山町庁舎に隣

する運びとなりました。

できる大ホールで、入場は 接する会場は八百名を収容

篠山町長 瀬戸亀男氏 「地域活性化と新生篠山町」

庶務課発行より引用)

き青春時代を篠山で過ごさ

(遥かに)越えながら懐かし 無料です。すでに五十路を

> 平成十一年六月六日(日) 日 午後一時から午後五時まで [場 所] 時

昭和二十四年、

紙面を借り各氏の簡単なプ 願い致しました。ここに、 の第一線でご活躍の方にお 学農学部、六篠会、地元篠 0795-52-3600 兵庫県多紀郡篠山町北新町 たんば田園交響ホール ロフィールを紹介します。 山町に馴染みが深く、各界 なお、講演者には神戸大

術研究所入所後、生理第 草学会、日本農薬学会、日本 の間、アメリカ雑草学会名 後平成10年まで関西大学 昭和53年神戸大学農学部 昭和30年大阪大学工学部 雑草学会の会長を歴任。(農 章等多数を受賞し、国際雑 誉賞、日本農学賞、紫綬褒 工学部生物工学科教授。そ れ平成3年定年退官。その 教授、農薬学講座を担当さ 二・第六研究室長を歴任。 大学院修了。農林省農業技

県立篠山鳳鳴高校を経て昭 資源開発研究室長·食品栄 化学科卒業。国立栄養研究 所入所後、応用食品部栄養 和39年兵庫農科大学農芸 .ac.jp)へお寄せ下さい。 yamamoto@eng.ans.kobe-u

成10年より兵庫県立姫路 現在に至る。(農学・医学 養評価研究室長を歴任。平 工業大学環境人間学部教授

学科卒業後、同40年大阪 員長等を歴任。(農学博士) 県有機農産物認証委員会委 戸大学農学部助手、助教授 府立大学大学院修士課程修 昭和37年兵庫農科大学農 調査検討委員会委員、兵庫 食料環境経済学講座を担当 を経て平成4年より同教授 ○保田 水省有機農業生産流通消費 ○瀬戸亀男氏 し現在に至る。その間、農 「
 兵庫農科大学助手、 神

町長に就任し現在に至る。 た後、平成3年より同町議 篠山町議会議員を長年務め 等校卒業。地元特産物を中 昭和30年県立篠山農業高 会議長、平成8年より篠山 心とした斬新的な農業経営 (兵庫県農業経営士) に従事。篠山町教育委員

078-803-TEL/FAX 問い合わせは、六篠会事務 局または山本博昭(神戸大 学農学部内、 この学術講演会に関する

支部等の便り

KOBE六篠会

会長 坂井永利 (昭和39年農学科卒)

続きご指導を頂いています。 77名で発足しましたが、 年々増え、10名を数える なっています。 現職が90名、0日が23名と 毎年少しづつ増え、現在は 12年になります。当初は 和61年に設立し、今年で め、農学部長や六篠会長に なられた大学の教官をはじ 年に一度、定年で御退官に 名のとおり、兵庫農科大学 生方に名誉会員として引き わせて、学部長経験者の先 に至っています。また、合 に花を咲かせる会です。昭 神戸市役所に勤務する者が 神戸大学農学部を卒業し、 兵庫県立農業短期大学及び もご出席をいただき、昔話 KOBE六篠会は、その 女性会員も 熟年、

ます。 の人が市役所に入ってきま す。因みに、今年は、3名 総会・懇親会に無料で招待 出席できることとしていま され、年会費の千円のみで 新人会員は、最初の

45名の出席を得て開催し た第12回の総

掲載の写真は、先日、

、約

ば「いったい 年に一回、役 ど正に老若男 OBの方々、 撮ることにし 員の改選期に 記念写真は二 会・懇親会の ない人がみれ ました。知ら 会で、あっと 女が集まった 青年、うら若 生方をはじめ けた大学の先 いリボンを付 ています。赤 記念写真です。 い女性などな い時間が経ち いう間に楽し 壮年、

科) 全てにわたり、研究室 学科、農芸化学科、畜産学 科、植物防疫学科、農業工 もまたバラバラです。この 実にバラバラ。卒業した学 るだけの関係で、勤務先は と思うのではないでしょう 科も旧の5学科(園芸農学 で神戸市役所に勤務してい 共通点は、大学の同窓生

になっている人、保健所や 幅広い分野に及んでいます 関係の指導をしている人や る人、環境局で産業廃棄物 区役所の保健部で食品衛生 し、小学校や中学校の先生 大学時代に教職課程を勉強 ため、皆んなの職場は実に や環境衛生の仕事をしてい

の集まりです。肩の凝らな ないかなぁということにな どと思って終わりなのでは 知り合えば実に楽しい連中 るんだと思います。それら 良いのではないでしょうか は仕事上の表向きの顔で、

況と就職難の中、神戸市も 現在の職員の採用状況は、 よっては定員を削減される 退職者の穴埋めの人数しか その例外ではありません。 集まりです。深刻な経済不 職場も少なくありません。 採用がされません。場合に KOBE六篠会は、こんな から無理はありませんが、 在校生の皆さんの中には

義氏が昭和二十八年に兵庫

農大第一回卒業の田中平

政事務を行っている人、 大気汚染や水質汚濁の防止 山牧場、はたまた海釣り公 ている人、ワイン城や六甲 ている人、公園の仕事をし 路など土木系の仕事に就い 設局で、土木、下水道、道 業、水産業、畜産業等の農 ている人、産業振興局で農 を図る環境保全の仕事をし

園で働いている人…。 す。このKOBE六篠会が いな奴っちゃなぁ」「ホン とも知らないまま「けった マ頭の固いおっさんや」 無ければ、同窓生であるこ な場所で会員に出くわしま 面白いもので、いろいろ

ことはキツイ奴っちゃ」な い知り合いが職場にいても 「可愛らしい顔して、言う

あの農学部の卒業生です

員試験には特定の学科を卒 ることと思いますが、公務 公務員を目指す人もおられ 受験で 県に奉職されて以来、ほぼ 催されておりました。 兵庫農大·神大農学部同窓 毎年入庁者があって漸増し、 る懇親会などが不定期に開 会として新卒業生の歓迎す 昭和五十年に大学本部に

名簿を渡し、会の案内をし 先に幹事が新人の所に現れ、

何の会」など

業していなければ、

就職されるといち早く配属

会では、新しく市役所に

簿を作成・配布することの 懇親会を開催することと名

事業は、年に一回総会・

みで、実に気楽な会です。

得していなければ市役所の 産学科担当の履修科目を習 ないため旧農芸化学科や畜 業していなければ任命され 農芸化学科や畜産学科を卒 採用試験を受けることがで 定する食品衛生監視員は、 例えば、食品衛生法に規

の仲間となられる方が現れ が無いように注意し、我々 ることを期待してやみませ ぜひとも履修科目の漏れ

> 三名の会員で 足当時は一

とです。会発 のが頭書のこ

用試験にあなたもチャレン 来たれKOBE六篠会へ! ジしてみませんかっ ですが、こんな神戸市の採 来たれ神戸市へ!

「いま県六篠会は」県六篠会の動き

数は約二〇〇名、うち現役 は勤務した) 六篠会会員に で、兵庫県に勤務する(又 会員は一六五名の大所帯で より構成され、現在の会員 六年九月に結成されたもの (昭和三十九年農学科卒) 廣島 豐彦 「県六篠会」は、昭和五十

林水産部を中心に各部局で 年は去る十月三日に五十余 県民農林漁業祭の日に開催 幅広く活躍しております。 方々が県の要職に就き、農 することが定例となり、本 近年は、総会を秋の兵庫

きません。 きない場合があります。

なるにつれ、

活動が活発に 正式結成され

「六篠会」が

門戸は極めて厳しい状況

睦のソフトボ

に講演会や親

く、毎年五月

平均年齢も若

ほぼ横這いとなっています おりました。その後、会員 歳)退職の会員が現れるこ 成元年春からは定年(六十 婚などによる中途退職や平 数は増加の一途ですが、結 ととなり、現役会員数は、 して後、懇親会を開催して ルに汗を流

兵庫県県議会議員)、そし 成二~五年度)、三代目北 歴代会長をはじめ多くの となっています。会員には 浦義久氏(平成六~七年度) (兵庫県理事、震災復興・ 災害保障制度担当) が会長 て現在は四代目和久克明氏 関東支部 和泉孔庸

名の会員が集い、大学から 画等について伺うとともに 席いただき、大学の現況や 多い会合となりました。 来春のの五十周年事業の計 王子六篠会副会長、にも出 会員相互の交歓をして実り も加藤農学部長をはじめ

創立五十周年を祝して

れて、二代目森俊人氏(平

初代会長の田中氏が退か

東地区には約一千名の会員 念申し上げます。こちら関 併せて益々のご発展を御祈 ばしい事と御祝辞申し上ば 事となり大変目出度且つ喜 が各分野で活躍されていま て五十周年の節目を迎える 来、多の変遷と発展を重ね 農科大学として開学して以 十四年に絛山の地に兵庫県 (昭和35 年農芸化学科卒) 神戸大学農学部は昭和三

> けていますが、昨年の七月 慨深いものがあります。関 協力を得て支部の設立準備 要請を受けて、会員有志の りに、『開学五十年の節目 に新家会長が上京された折 員達が個々に懇親の場を設 るいは講座を同じくする会 ビジネスの場を持つ会員あ 交流及び親睦は、同じ業界 東地区における会員相互の にも見る事が出来て誠に感 躍を遂げたと云う証をここ の後に素晴らしい発展と飛 ると云う歳月の重みまたそ 校以来五十年の節目を迎え す。この現状から母校が開 に是非支部の設立を』との

うこととなり

会則を定めた

しては、とい 組織的に活動 生から我々も 県関係の同窓

任して正式に発足しました。 びに支部役員を次の通り選 を行い支部規約の承認、並 の会員が出席して設立総会 の出席をも戴き、八十数名 新家会長並びに王子副会長 会関東支部』設立し、去る した地域支部として『六條 住、在勤する会員を対象に 係している会員の親睦グル 七月十一日(土)に本部より し、関東地区一都六県に在 ープである『甲農会』を核と 今回の支部設立に際して 主として農薬業界に関

支部長 副支部長 和泉孔庸 (兵八回

馬庭義則 山本隆司 岸谷靖雄 足立隆昭 上山維介 (神三回) (兵十回 (兵十回) (兵九回

本田 勉 (兵十二回)

事

を進めてきました

局を次の通り設置しますの

なお、当支部の連絡事務

神戸大学農学部同窓会 関東支部設立総会 拶を行い、つづいて来賓の 聞かれていた。

は、おそらく初めての企画

つことができた。

鈴木道夫(兵十七回) 加納健三(兵十六回) 多田泊二 (兵十三回)

宮崎敏弘

(神三回)

広岡慎吾 哲郎(神十五回) (神八回)

03-5687 T E L -3923

03-5687-3977

F A X

「六篠乙会」が発足・ 開催される

して行きたい思っています 発展の一助となる様に活動 るとともに、母校の更なる 互の連携と親睦を更に深め 当支部としては我々会員相 西岡泰介(神十八回) 辻川立史 (神十三回) 松浦祥二 (兵十回)

ストランバーグにおいて盛 貿易センタービル24階、レ 5月16日(土)に神戸商工 大に開催された。 56名の出席のもと、さる の畜産学科の同窓会が、1

海大学校友会館(霞が関ビ

十日(土)に今回と同じく東

次回の総会は来年の七月

ル)で開催しますのでより

のご協力をお願いします。 ので、会員各位には尚一層

多くの会員の出席をお願い

します。また、東海、東北

うとしている。また、畜産 学科(現在=応用動物学科) 農科大学が篠山の地で開学 して以来、50年を迎えよ 神戸大学農学部は、兵庫

各位も参加して下されば有 等近隣地区におられる会員

で利用して下さい。 関東支部連絡事務局 (株)アグロス 上山維介(副

東京都中央区東日本橋 $\overline{1}_{03}$ 支部長 神三回) (東日本橋スカイビ をいただいた。 子や大学創立50周年記念 事業計画についてのことば

宴会に入った。 インによって乾杯を行い 番の長老である下田興四雄 先生の発声のもとで神戸ワ 先生方の紹介、引き続き た懐かしい13 名の恩師の その後、ご出席いただい

恩師を囲んで懐かしい思



を学んだ卒業生は、すでに 各方面から同窓会を開催し てはどうかといった要望が 学科全体の同窓会の開催 000名を越えており、

通知をはじめ、日時、場所、 りの会を重ね、卒業生への 会を発足させ、10回ばか 日までの準備を綿密に行っ 会費、アトラクション等当 である。そのため、世話人 同窓会当日は、主催者か バンザイでお開きとなり、 最後に、水野利雄先生の

厚くお礼申し上げます。 は、 検討した結果、神戸大学

六篠会長から現農学部の様 加藤征史郎農学部長、新家

06 - 419 - 717

F A X 078-821 44000

TEL 中村 直彦(神1回) 078-821 4400

078-735-2950 078-735-2907

(3)会則が定められていること。

が行う行事に本部役員を参加

り上げとする。

なお、10、000円以下は切

(3)支部の要請により、支部

楽しく、意義深い一時を持 り、桂文福師匠のアトラク 横や縦や大学とのつながり い出話に花を咲かせたり、 ションに笑いが飛んだりで で仕事の話に夢中になった

はじめ、同窓生の皆様には た、現・旧教官の先生方を 遠路ご出席をいただきまし 来年度の50周年記念事業 皆が元気に顔を合わせるこ の「六篠Z会」での再開には とを誓って散会した。 への参加、その2~3年後 また、ご多忙のところ、 なお、収支会計について 後日、世話人会を開催

ら杉本金五世話人代表が挨

算いたしましたのでご了承 業会に10万円を寄付し精 農学部創立50 周年記念事 ください。

杉本 金五(兵5回) 六篠乙会事務局/

06 - 412 - 0167

ものとする。

(支部の基準)



お 悔

り、謹んでお受けいたし はじめご家族の方々のお 回生林正人君は、平成 会への寄付の申し出があ 林正人君の御冥福を心か ります。ここに慎んで、 嘆きも察するにあまりあ 東京大学大学院への進学 目前のことで、本人もさ 10年1月18日病気のため らお祈り申し上げます。 ぞ無念であり、ご両親を 逝去されました。同君は なお、ご両親から六篠 農学部植物資源学科4

やみ

をいたします。 ましたことをここに報告

> 県六條会、延喜会に続き、関 行われていたKOBE六條会 参照していただければ幸いで 部設置に関しては次の規定を 定が定められました。各地で 支部の設置及び運営関する規 れております。これに伴い、 東支部が発足しております。 しております。なお新しい支 めにも新しい支部設置を歓迎 の同窓生の繋がりを広げるた また九州支部の設置が予定さ これまでに既に支部活動が (支部の認定)

要な事項を定めるものとする。 この規定は、六條会の支部の 設置及びその運営に関し、必 (事業活動)

第1条

(趣旨)

第2条 進し、六條会(「本部」とい 業・団体に属する正会員によ 六條会の活動を広く会員に広 う。)は、その活動を支援する げるため、同一又は同種企 「支部」という。) の設置を推 る正会員による地域支部(以下 る職域支部、同一地域に属す

の正会員が、30人以上であ 対象とした組織であること。 (職域支部)または、同一地域 より設置されたものをいう。 支部とは、次の各号の基準に (2)支部の会員のうち六條会 (地域支部)の全ての正会員を (1)同一又は同種企業・団体 るものとする。 支部設立助成金交付基準によ (本部の支援)

員名簿(案)を添えて本部に申 書、代表者名、会則(案)・会 基づき審査を行い、支部と認 請しなければならない。 支部を設置する場合は、趣意 し、その旨支部に通知するも めたときは、支部として登録 請があったときは、 本文役員会は、前項の申 本規定に

支部は次の事項について必ず (支部の義務) 第5条 本部に報告しなければならな (1)支部総会を開催したとき

(4)支部役員名簿(更新の都 (3)支部役員名簿(更新の都 (2)支部会則の改廃

設立総会開催費の一部を助成 たって、必要な情報の提供を する。助成額は、別に定める (2)本部は、支部設立にあって 行うものとする。 号に定める支援を行う。 本部は、支部に対して次に各 (1)本部は、支部の設立にあ

ことができる会合を開催して (4)定期的に全会員が集まる いること。原則として年1

> ることができるものとする。 農学部の近況などを報告させ させ、本会の活動、神戸大学

を負担する。但し、旅費・宿 役員の参加費は、本部がこれ (4)支部行事に出席する本部 **六絛会の支部設置及び運営に関する規定**

(委任) 代議員を選出することができ 支部は、六條会代議員選出規 第8条 定に基づき、支部代表として、 泊費については、支部が負担 (代議員の選出) するものとする。

は、役員会において定める。 この規定の施行に必要な事項 (施行時期)

月1日から施行する。 経過措置) この規定は、平成9年4

による設置された支部とする。 設立された組織で、その規定 2 平成9年4年1日以前に は適用しないものとする。 に合致するものは、この規定 第6条の(2)関係 但し、第6条第2項の規定

成金は、設立総会開催に要す 支部設立助成金交付基準 支部設立時における本部助

000円とし、50、000円 とし、その額は、次の基準に を限度とする。 六條会正会員1人当たり、1 よるものとする る経費に対して交付するもの



の代名詞のように言われ、 節とともに昔からよく知ら その名は、民謡デカンショ 丹波篠山といえば、田舎

中で、旧兵舎を利用、 昭和三十年に編纂された篠 まだ敗戦の陰を残す世相の 農科大学が創立された。い 予科の後を受けて県立兵庫 置された兵庫県立医科大学 しての開学であった。 このことは当時の篠山を 改装

深まっていく山又山を縫う 合間に見える頃から次第に 流がトンネルとトンネルの 道線と分かれて北へ北へ… 福知山線は、尼崎から東海 山町七十五年史を巻頭に伺 い知ることができる。 山峡に砕ける武庫川の清 「大阪から山陰へ通じる 思いが強かったと回想する。

山深い篠山の地に、先に設 昭和二十四年四月、この 国立移管の止むなきに至っ 係住民にとっては、無念の することを期待していた関 教育都市として大いに発展 地を離れ、神戸の六甲台に には兵庫農科大学が篠山の が、その間、昭和四十二年 れなりの進展を遂げてきた 活環境の整備がなされ、そ とともに、道路状況等の生 育の町、観光の町として新 た。大学誘致に夢を託し、 しく立ち上がる 後略」 篠山の町も日本経済の発展 以来、半世紀が経過し、 かっての軍部は、今は教

す学生の姿は、町ににぎわ る学生たち。白衣にタオル の風物詩「春日神社の秋 カンショ祭に浮かれ、田舎 振興の大きな原動力となっ いと活力を与え、商店街を をぶら下げて自転車を走ら で語り合い、青春を謳歌す 祭」を楽しみ、赤提灯の店 かしい歴史を語っている。 足跡は大きく、篠山での輝 であったが、大学の残した 八年、長いようで短い期間 ときには、篠山の名物デ その大学が創設されて十 転等、

に乗り換えると僅か十分… 篠山口で篠山線或いはバス ように走ること二時間…

る。中略

願っている

青山藩六万石の城下町であ

位置する山陰の要衝として

〇七米、多紀盆地の中央に

ここ篠山の地は、海抜三

替えしたが、そのほ場から ていた。 っても過言でない。 が残した大いなる産物とい 結果であり、兵庫農科大学 研究されてきた栽培技術の 中心に長年にわたって改良 特有の気候風土と、大学を も有名である。これは丹波 の高い産物として全国的に 芋は、品質的にも付加価値 穫れる丹波の黒大豆、山の は近代的な美しいほ場に衣 実施され、篠山地方の農地 篠山川沿岸土地改良事業が として兵庫県から交付され た八億七千万円を原資に、 また、国立移管の見返り

戸地方裁判所篠山支部の移 成長の波に乗ることもなく その後の篠山は、依然とし 丹波の地を去って三十二年 かんともしがたく、大学が の振興にも多大の貢献と先 文教の中心として地域産業 て昭和三十年代からの高度 導的な効用を果たしてきた。 大学は、丹波地域における まさに、当時の兵庫農科 しかし、時代の変遷はい 公共施設の縮小がな

町として推移してきた。

組みがなされてきた。 地域整備への積極的な取り として脚光を浴びることと 小盆地特有の個性豊かな町 さと志向が高まるにつれ、 結果となった。国民のふる 文化、良きふるさとを残す もなく、豊かな自然と伝統 市に見られるような乱開発 なり、時代の要請をうけて しかし、このことが他都

どの研修、スポーツ・レク ツセンター」、ゴルフ場な さやま」や「丹波総合スポー の周辺には「ユニトピアさ が数多く設置され、市街地 史村などの歴史文化や伝統 術館、能楽資料館、青山歴 園交響ホールや篠山歴史美 観形成がなされ、たんぼ田 はシビックゾーンとして景 芸術を紹介、展示する施設 すなわち、篠山城跡周辺

昭和五十三年三月に多紀

化の様相を余儀なくされて 齢化率が上昇するなど過疎 その後も人口減少が続き高 郡の東部三町が合併し新し く篠山町として発足したが されるなど、比較的静かな

きた。

躍動の時を迎えている。 進むなど、丹波篠山は今、 途に大書院の復元が着々と として老人保健施設、リハ キャンパス将来構想の一環 十年の歴史を刻む篠山城跡 る。なおまた、風雪三百九 ビリ棟の建設が始まってい 開院し、兵庫医科大学篠山 国立篠山病院の受け皿とし には、平成十二年完成を目 て兵庫医科大学篠山病院が しかし、抱える課題も多

が進んでいる 地への資源開発と施設整備 リェーション施設等、 観光

どっている。 る観光客は増加の一途をた らに高め、篠山の地を訪れ 展開が、篠山の知名度をさ 民一体の多彩なイベントの 篠山ABCマラソンなど官 デカンショ祭、味まつり、 殿で開催される四季の演能 あわせて、春日神社能楽

ている。

ている。 想」への取り組みがなされ 和した緑豊かな田園文化都 祭典を機に、人と自然が調 も一九八八年の北摂丹波の 市を目指し、「丹波の森構 また、地域整備において

備も進んでいる。 が走り、大阪までの所要時 駅舎に様変わりし駅周辺整 短縮した。篠山口駅も橋上 間は一時間あまりと大きく 便利になった。都市型電車 の複線化が完成し、随分と JR福知山線篠山口駅まで 平成九年三月には念願の

また、昨年の十月には、

るなかでの、秩序ある土地 化対策は緊喫の課題となっ が著しい中心商店街の活件 大型店進出等によって凋落 る水資源対策や、郊外型の い。住宅開発等が活発化す 利用と人口増加に対応でき

が懸念され、恒常的な農地 が深刻である。農地の荒廃 また、農業の後継者問題

策も又大切な地域課題とな の導入に代表される福祉対 社会が進み、介護保険制度 しているが、これも諸につ 係)が設立され活動を開始 ファームささやま(農業関 ま(商業関係)、 術グリーン る。ために、第三セクター による何クリエイトささや 保全対策が必要となってい いたばかりである。高齢化

の理念に沿って、兵庫農科 以来、百二十七年の歴史と 多紀郡は、明治の廃藩置県 が発足する。かつて、篠山 郡四町が合併し、新篠山町 平成十一年四月一日、多紀 活力と潤いに満ちた地域と 大学発祥の地にふさわしい れている「丹波の森構想」 百年の大計として取り組ま な篠山の里が、地域づくり ともいわれている。緑豊か の道を歩もうとしている。 変遷を経て、再び一本化へ 藩六万石の統治下にあった して大いに発展することを 二十一世紀は環境の世紀 こうした状況のもとで、

1177 の対

平成9年度 平成9年度神戸大学農学部

同

窓

会





が六篠会の役員会顧問に就任され 前副会長の東順三氏、 田中平義氏

う役員に、定めた限度内で交際費 の連携を図る上で必要な活動を行 本会の発展並びに他の同窓会等と 〈六篠会交際費に関する規定〉 小松 謹んで御冥福をお祈り申し上げます 基宏氏(兵乙28)

鳥山 柴野佐代子氏(神C15) 福島 孝昌氏(兵丁17) 功樹氏(兵A2) 昭康氏(旧教官) 修氏(神乙23)

左の方が昨年度ご逝去なされました 読ください ぞれ担当の方々の記事をぜひ御 してまいりました。この点はそれ 平成9年度慶弔記録「訃報」

事業が農学部との共催でとり行な われます。本計画を4月以来立案 平成11年には農学部創立50周年

先生が退官されました。慶弔規定 先生、それに環境情報学の杉原雄 崎武先生、栄養生化学の氷上雄三 化学の新家龍先生、付属農場の尾 に基づきささやかな記念品を贈呈

つまり文学部同窓会、紫陽会(教育 学友会活動について 先の六篠会会報で報告しました 神戸大学の各学部の同窓会

篠会からは、前会長の西川欣一先 は元学長の新野幸次郎先生で、 からなる学友会があります。会長 神緑会(医学部)、工学部振興会 六篠会及び翔鶴会(国際文化学部) 若者同志が集まったり、活躍中の 用できるサロン・神大クラブ(K UC)があるのをご存知でしょうか? 神戸大学の卒業生が、誰でも利

ラブ(KUC)が設置されています。 に寄与することを目的に、神大ク 睦を図り、母校の神戸大学の発展 学各学部の同窓会の相互交流と親 れあいの場であったりと、神戸大

平成10年3月末日で微生物機能 案が纒まり次第、幹事会を開催し 円を遽出しております。記念事業 積立を続けており、六篠会は10万 端として、 開催されてきましたが、主として の内容については、大学側の企画 神戸大学創立百周年記念事業の て対処することになっております これまで、学友会は年2回程度 毎年記念事業準備金の

百旗頭(いおきべ) 真先生を迎えて ンターにおいて、

高める場として、 業生の個性を繋ぎ、知性と教養を 学部、世代、 専門を越えて、

E-mail:rikusou@ans.kobe-u.ac.jp

頂くようお願い申し上げます。

および所属学科を合わせてお伝え

同窓会から3名が選出された運営 千円。運営については、各学部の 会費は、入会金1万円、 の他各施設の割引きがあります 講演会、ビアパーティーなど、 委員会によって、毎年新しい事業 割引きのほか、KUC主催の親睦会 オーガスタプラザ17 階、ザ・ハー ハースカイ。 特典は、飲食代金の 年会費6

入に伴い、 ます。

の変更、また本会に対する御要望 も行っております。 また、コンピューターの道 新たにE-mailでの受付 住所や連絡先

六篠会への連絡

場所は、神戸ハーバーランド、

FAX078 (360) 6052 皆さんの入会をお待ちしています KUC事務局 TEL078 (360)

平成10年度一般会計予算

金 会

計

目

算 額

5.000,000

1,226,378

6.230.387

4,000

算 額

550,000

1,200,000

250,000

250,000

300,000

300,000

100,000

300,000

130,000

100,000

540,000

110,000

400,378 6,230,378

1.700,000

備考

脚注1)

備考

脚注2)

脚注3)

脚注4)

脚注5)

脚注6)

脚注7)

収入の部

前年度繰越金

農学部、農場活動援助費

一般事業費

50周年記念事業会計へ繰出

各種活動援助

学生図書

卒業記念祝賀会

一般事務費

議 費

弔 慮

役員手当

神大学友会経費

備費

計

費

費

旅

交 際 費

褒 章 費

予

合

項

雑 収

合

項

支出の部

平成9年度一般会計決算報告書 収入の部 8,015,870 支出の部 6,789,492 差引残高 1,226,378

項目	予 算 額	決 算 額	増減(-:減)	備考
入会金	5,100,000	4,920,000	-180,000	脚注1)
預金利子	4,000	8,905	4,905	
雑収入	3,000	149,024	146,024	脚注2)
学術振興基金からの繰入	3,000,000	2,400,000	-600,000	
名簿売り上げ代金	0	9,000	9,000	脚注3)
前年度繰越金	528,941	528,941	0	
合 計	8,635,941	8,015,870	-620,071	

支出の部

項目	予 算 額	決 算 額	增減(-:減)	備考
農学部、農場活動援助費	550,000	550,000	0	脚注4
一般事業費	1,800,000	1,843,220	43,220	脚注5
一般事務費	3,200,000	3,059,969	-140,031	脚注6
会 議 費	300,000	290,719	-9,281	
旅 費	100,000	49,040	-50,960	
慶 弔 費	300,000	128,793	-171,207	
神大学友会経費	100,000	245,585	145,585	
予 備 費	2,285,941	622,166	-1,663,775	
支 出 計	8,635,941	6,789,492	-1,846,449	
次年度繰越金	0	1,226,378	1,226,378	
合 計	8,635,941	8,015,870	-620,071	

脚注1)30000円*164名分 脚注2) 農学部絵はがき売り上げ、学生の御遺族より寄付、役員会会費

脚注3)300円や3名分 脚注3)300円や3名分 脚注3)300円や3名分 脚注5)農学部環境美化、農場さなぼり祭援助 脚注5)会報発行、学生図書購入、李保収資会援助、六徭会関東支部設立援助、共同開発センター創立10周年 記念行事援助、大甲祭爰郎、東海近畿地区図立大学農学系事務連絡会議援助、農学部マランン大会援助 脚注6)名簿買い取り代金、農学部紹介印刷費、卒業証書筒代金、郵送料、常任幹事手当、アルバイト代など

平成9年度学術振興基金決算報告書

収入の部	35,9	80,750	6 3	は出の	尚	3,140	,000	差別残局	32,8	340,756
収入の部										
項	目	予	算	額	決	算	額	增減(-::	减)	備考
預金利	子	1	20,0	000		95,7	740	-24,2	60	
前年度繰起	或金	35,8	385,0)16	35	,885,0)16		0	
合	計	36,0	05,0)16	35	,980,7	756	-24,2	60	

支出の部

項目	予 算 額	決 算 額	増減(-:減)	備考
海外学術活動援助	400,000	360,000	-40,000	脚注1)
学術活動援助	600,000	380,000	-220,000	脚注2)
一般会計へ繰入	3,000,000	2,400,000	-600,000	
予 備 費	505,016	0	-505,016	
支 出 計	4,505,016	3,140,000	-1,365,016	
保留金	31,500,000	32,840,756	1,340,756	
合 計	36,005,016	35,980,756	-24,260	

脚注1)8万円*4件+4万円*1件 脚注2) 講演会(2万円*9件+国際シンポジウム1件)

神戸大学農学部教官現員表 (平成10年10月現在)

	TAL IN	有开名人		力女受	カト
辛		遺伝生化学(家畜育種学)	辻 非 井	日寺子	英
	応用動物遺伝学	生殖生物学(家畜繁殖学)	- 1	宮野 隆	*京山 羊
応用動物学科		統計遺伝学(家畜育種学)	向井文雄		1.
(畜産学科)		栄養生化学(家畜飼養学)	*長谷川 信		加野浩一郎
	動物機能調節学	応用生理学(家畜管理学)	豊澤敬一郎		千田 廉
		感染·免疫学(家畜衛生学)	清水 晃	河野潤一	高木道浩
	その は	· 直加了重之 (下加了重之) 資源植物生産学 (作物学)	行兵	内田直次	鬼頭誠
	資源植物学	資源植物開発学 (作物育種学)	*金澤洋一	三十尾修司	石井尊生
		果樹科学(果樹園芸学)	中西テツ	野村啓一	
直勿近原产斗	園芸資原学	花卉野菜科学(花卉蔬菜園芸学)	稲垣昇	金地通生	宇野雄一
(園芸農学科)	量去資源等	資源利用科学(保蔵加工学)	土田廣信	*水野雅史	
		食料経済学(農業経済学)	加古敏之	金子治平	梅津千恵子
	とすることによる	食料生産管理学(農業経営学)	保田 茂	高田 理	
	食米環均維沙 等	食料情報学	*高喬言正		
	こりを含む	土壌学(土壌学)	大塚紘雄		藤嶽暢英
	生物環境学	植物栄養学(植物栄養学)	王子善清	杉本敏男	白石斉聖
	植勿幾能制卸学	植物遺云学(坊变遺云学) 熱帯植物学(熱帯有用植物学)	中村千春	森 直樹	宅見薫准
生物環境制御学科	1	植物遺伝資源学	*朴 杓允		
(植物防疫学科)		農薬生化学(農薬学)	1	中田昌伸	
	- July 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	起以外乡(是类型以乡)	-	*土佐幸雄	中屋敷 圪
	生物制御学	昆虫科学(農業昆虫学)	Ŧ.	高 須 啓 志	
					安原昭江
		生物化学(生物化学)	相薗泰生	山形裕士	宇野知秀
	生勿幾能分子化学	食品・栄養化学(食品及び栄養化学)	団野源一	金沢和樹	芦田 均
生物機能化学科	2.4本作人二十名	有機機能分子化学		三宅秀芳	
(園芸化学科)		生物機能物理化学	幡山文一	大野隆	
1		植物資源利用化学(農産製造学)	岸原士郎	脇内成昭	玉城
	生物機能利用化学	激生物機能化学(競擇生産学)	青木建欠	山之内。稳	
		水環境学(水利用工学)	畑武志	*田中丸治哉	多田明夫
	N. Cest. 2018 11-12 1-1	土地環境学(土地利用工学)	内田一徳		
	生產環境等	地域環境学(水地利用工学)		田中勉	
生産環境情報学科		環境情報学	中野政詩		
(農業工学科)		生産機械学(農業動力学)	山本博昭	中嶋洋	徳田 勝
None and a	E 勿己至二之	プロセス工学(農業機械学)		豊田浄彦	
	44	生産情報学(圃場機械学)		川村恒夫	庄司浩一
		生産計画学(農業動力学)	堀尾尚志		
			河野和男	保坂和良	南條嶽
付属農場					小林申钱
			6		片山寛則

()内は旧学科、講座名、*は自然科学研究科専任教官を示す。



規定〉、 際しての活動補助が新規定のもと 動(学会発表)で海外に渡航するに に現役学生の六篠会会員が学術活 施行することになりました。とく 篠会会員褒章規定〉、〈六篠会慶弔 の執行が認められました。その他会 〈海外学術活動援助規定〉を

りやすくなったと思われます も活動基準が明文化されたためや 試行され、新しく役員になられて た活動が全体的に組織化の方向が 以前は場当たり的になりやすかっ これら諸規定が整えられたおかげで では可能になり現に執行致しました

導入をし、開かれた情報交流をめ

FAXの設置、コンピューターの

述べられています。

いように考慮して選出することが

制の充実を計りました。非常勤(週

学年、

などから可能な限り偏らな

1回)の六篠会専属事務員を採用.

体制が可能になるように、事務体 まず会員諸氏とのスムーズな連絡 動に取り組んで来ました。そこで 動ができることを目標に種々の活 混乱することなく正常で活発な活

同

一地域内での同窓生の横の繋が

りが促進されつつあります。設立

に際し、本部からの助成を行います。 〈六篠会代議員選出規定〉 この中には、代議員は、卒業年

ような役員構成になっても本会が

基づき新役員体制での活動をスタ

一させました。それ以来、どの

この規定に基づいて既に関東支部

が承認され支部運営がなされており、

平成9年度の代議員総会の決定に

の規定概要は次のとおりです。

を正式に承認発足させました。

個々

〈支部設置及び運営に関する規定〉

六篠会運営に関する役員会諸規定 員総会では六篠会活動活性化のため

同窓会(六篠会) 庶務報告

ざしています。

平成10年度の代議

これに基づき前会長の西川欣 〈六篠会役員会顧問選出規定〉

氏

平吉 高山 小野 浜田 近藤健次郎氏(旧教官) 秀男氏(旧教官) 豊氏(旧教官)

退官教官の紹介

脚注1) 預金利子を含む 脚注2) 支部設立援助金、六甲祭援助、農学部マラソン大会援助など 脚注3) 郵送料、電話代、アルバイト代、コンピュータ代金(約40万)を含む 脚注4) 代議員総会、総会、役員会、幹事会 脚注5) 六確会活動費、学女会活動費、民心活動費 脚注6) 常年幹事(5万円)×9人、役員(1万円)9人 脚注7) 神戸大学100周年記念事業積立金、学安会年会費 平成 10年度学術振興事業予算

収入の部

項目	予 算 額	備考
前年度繰越金	32,840,756	
雑収入	95,000	脚注1)
合 計	32,935,756	

支出の部

項		目	予 算 額	備考
学術	振興	事業	1	
海外等	产術活!	助援助	400,000	
学術	活動	援助	400,000	脚注2)
予	備	費	500,000	
保	留	金	31,635,756	
合		計	32,935,756	

脚注1) 預金利子など 脚注2) 学術講演会援助20件

経営学部·法学部)、理学部同窓会 学部・発達科学部)、凌霜会(経済学部

が幹事として参加しております。

卒業生が交流したり、同窓生のふ

KUC活動について

て15周年を迎えるため、平成11年 を企画し、開催されています。 とくに、今年はKUCが発足し

定しています。 このKUCを大

の記念講演会と記念パーティを予

法学部教授

なお、

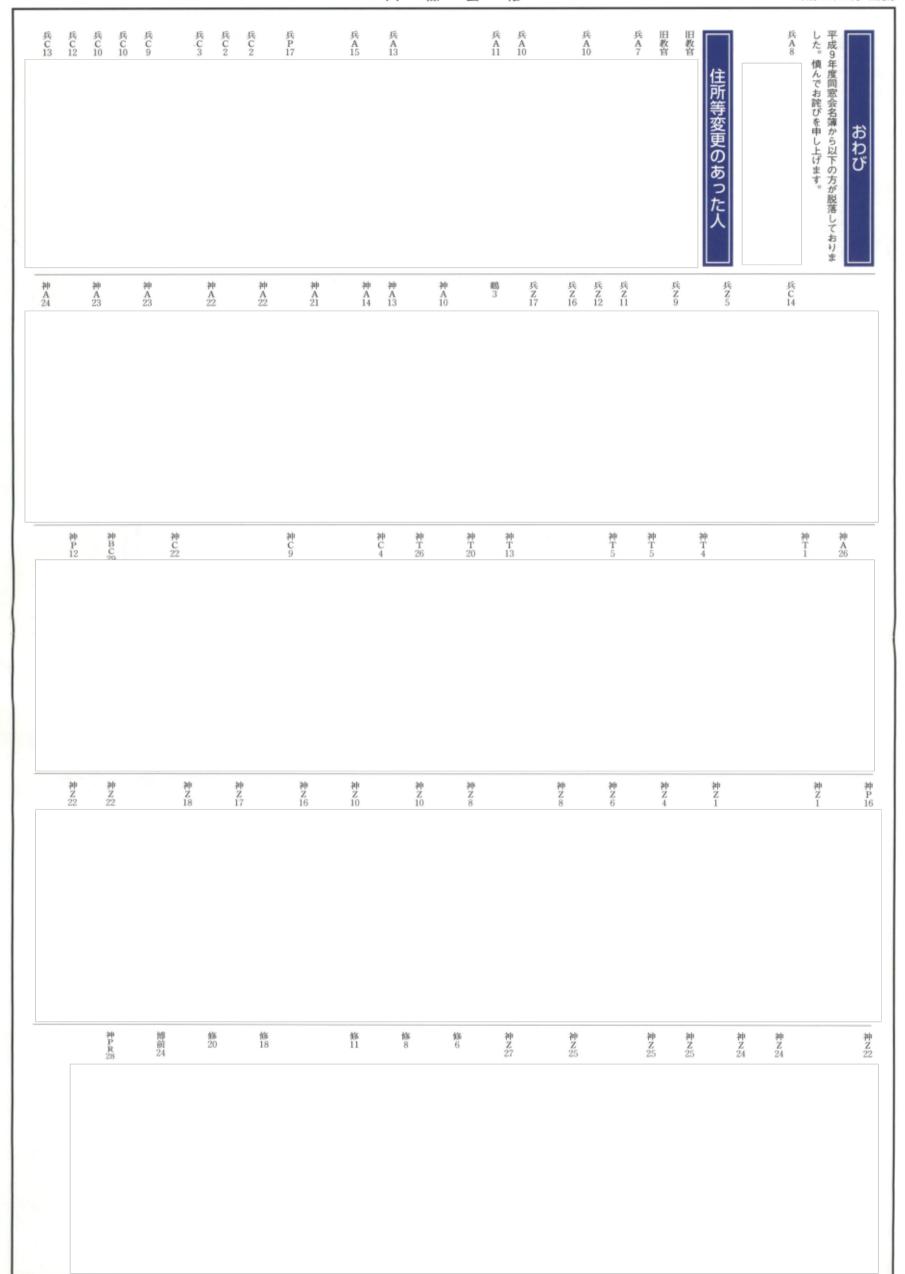
御連絡の際には、

、卒業年次

御意見など御待ちしております。

2月27日(土)に神戸市産業振興セ

を主としてFAXで受付けており 会員の皆様からの本会への御連終



(昭和14 41月 41月 41月 41月 41月 41月 41月 41月 41月 4	(昭和12 第 10 第 10 第 12 37 回 57 回	第 9 回 35 回 4 9 回 4 9 回 4 9 回 4 9 回 4 9 回 4 9 9 回 4 9 9 回 4 9 9 9 9	(昭和3 3 3 3 3 3 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(総和20年5月卒) (総和20年4月卒)	短期大庫	專門都旧 財 財 財 官	ご存知の方は同以下の方々の連
(昭 第 (昭 第 11	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	(昭和25 330 年 4 月 李)	農芸 (昭和43年3月本) (昭和43年3月本)	第 8 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	昭和43 回生 第17 回生 第16 回生 第17 回生 第17 回生	(昭和15 日本) 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第一日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二日 第二	で存知の方は同窓会事務局までご連絡ください以下の方々の連絡先が不明となっております。 不明者一覧
農業短期大学部	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	第11 第10 第10 第10 第10 图 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	(昭和 8 3 3 5 回 4 4 3 月 本)	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	第4回生 第4回生 第17回生 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日 第18日	昭和42 年3 月本	こ連絡ください。
第 5 回生 第 5 回生 月 李)	(昭和 4 48 日 日 年 3 月 卒)	(昭和47回年 1月李)	(昭和45年3月卒) (昭和45年3月卒)	昭和32 32 5 5 7 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	(昭第4 311回 31年3 3月本)	(昭和30回 第30回 第30回 第3月李)	第 2 回生 第 1 回生 第 1 回生 9 7 9 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9
第 第 第 第 第 和 16 60 回 5 4 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5	(昭和55年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年年	(昭和57年3月年) (昭和57年3月年) (昭和57年3月年)	第 12 年 11 日 12 年 12 日 12 日 12 日 15 5 5 日 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	第 10 10 11 12 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	(昭和53年3月率)	(昭和 8 年 8 年 8 年 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日	第7回生 第6回生
第 6 日 年 年 月 平 年 1 月 平 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	(昭和5日本) (昭和5日本) (昭和5日本) (昭本5日本) (昭本5日本) (昭本5日本) (昭本5日本) (昭本5日本) (昭本5日本)	第 第 第 第 第 25 回 年 第 26 回 年 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 月 字 9 年 3 日 9 日 9 日 9 日 9 日 9 日 9 日 9 日 9 日 9 日	(平成5年3月を) (平成5年3月を) (平成4年3月を)	(平成3年3月本) (平成3年3月本)	(平成元年20 成元年3月年 1月辛)	(昭第19	第 18 回 生
(昭和5日生 第26 回生 第26 回生 第1回生 第1回生 第1回生 第1回生 第1回生 第27年3月本)	(昭和63年3月年) 第23 (昭和63年3月年) 第20 (昭和63年3月年) 第20 (日生年3月年)	(昭和18 62 年 3月本)	(昭和18 回生 第15 日生 第16 日本 第17 日日 第18 日 第18 日 第 第 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日 8 日	(昭第 和 13	昭第 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	第 9 回 第 8 回 年 3 月 李	(昭和 7 51 回 50 年 3 月 平 3 月 平 3 月 平 3 月 平 3 月 平 3 月 平 3 月 平 3 月 平 5 日 平 5
留和 15 第 4 14 15 15 16 16 15 16 16 15 16 16 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	昭和57 回 日本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月本 1月	第 12 回 生	第11 第10 第10 第11 10 10 15 15 15 17 17 17 17 17	(昭和53年 第9回生 7年 7年 7年	(昭和 5 年 5 月本) (昭和 7 日 5 2 年 3 月本) (昭和 7 日 5 2 年 3 月本) (昭和 7 日 5 2 年 3 月本)	生まり	(昭和46 年3 月率)
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	第24 回生 1年3月李)	(平成4年3月卒) (平成4年3月卒)	第 第 21 平 21 回 5 月 辛	(平成元年3月本)	(昭和63年3月年) 第19 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	第 8 8 18 8 17 6 16 16 16 17 6 17 6 17 6 1	(昭和60年3月李)
留和11 55 5年3月 车3月 车3月 车	(昭 第 9 54 1回 53 1回 55 4 上 月 李)	昭和2 第8回 52 年 月 李	(昭和51回年 第7回年 1月本) (昭和50回年 1月本)	(昭和49年3月本)	(昭和8年3月本)	(昭和47年3月本)	(昭和46年3月率)
平 第 223	平第 (昭和19	留和18 62 65 65 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67 67	昭 第 17 (日本) 第 16 (日本) 17 (日本) 17 (日本) 18 (日本) 18 (日本) 19 (日本)	(昭和55 15 回生 15 可生 17 本)	(昭 第 14 58 回 日 2 5月 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	第13回生 第19回生	(昭和5 年3 月卒)
(昭和11 年 55 年 5 月 平 5 月 平 5 月 平 5 月 平 5 月 平 5 月 平 5 月 平 6 円 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7	第 10	(昭和52年3月年) 第7回生 第7回生 第7回年	(昭和6 回生 9年3月平)	留和49年3月年)	(昭和44 第4回 第7回 第3回 第3回 第3回 第3回 第3回 第3回 第4回 第4回 第4回 第5月 第5月 第5月 第5月 第5日	第2回生 第2回生 第1回生 第1回生 第1同生 第1同生 等2同年 第1同生 等2同年 第1回生	(平成24 (平成25年3月年) (平成24年3月年) (平成27年3月年)
等 第23 4 回 3 月 章	(平成22 第 成21 成21 回 21 回 21 回 21 回 2 回 2 回 2 月 平 0	(昭和19 63 回 43 月李)	(昭和2 回生 年3月本)	(昭和16 60 回年3月年) (昭和75 回年4 月本)	第14 回生 月3月率)	第13 図和52年3月率)	(昭和55 年 3 月 本)
「昭和 第 13 13 14 15 16 17 17 18 18 18 18 18 18	留第 和11 59 回 3 月 修 了	(昭和58月3月修了) (昭和75年3月修了)	第8回生 第8回生	(昭和54年3月修了) (昭和54年3月修了)	(修士課程): (修士課程): (昭和50年3月修了) (昭和50年3月修了)	大学院 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月	第 (平成5年24 回生 月 年)
(博士後期課程 (博士後期課程) 平成10年3月修了	(平成9年3月 (平成) (平成) (平成) (平成) (平成) (平成) (平成) (平成)	(平成6年3月 (平成7年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月 (平成6年3月	第	(平成4年3月 年3月 年3月 年4 19 年4 19 年4 19 年4 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	(平成3年3月修工) (平成3年3月修工) (平成3年3月修工)	單成元平 音 極 工	頭和63年3月修了

寄付者名簿

次の方々から早々に50周年記念事業に関わる 募金を頂きました(平成10年10月13日現在)。 ここに厚くお礼を申し上げます。

入 今 今 伊 井 井 井 犬 稲 伊 伊 井 和 一 井 泉 石 石 石 石 石 池 池 池 江 石 井 井 吹 上 上 上 伏 垣 藤 藤 手 泉 井 関 元 原 沢 賀 井 井 田 田 大久保 智子 尾 奥 岡 岡 岡 岡 岡 岡 崎 田 山 山 本 村 松 大 大 野 大西 古 太田 大川 王子 大久保 英昭 大賀 三郎 内内内内上 **岩** 正

 上島
 鎌田
 金田
 金田
 金田
 金田
 成雄

 上島
 一郎
 一郎
 一郎
 一郎
 中本
 < 兼 金 金 兼田 田 田 崎 保 通美朗幸章伸智代 佐齊小小小五小伯藤山山山味松 太 博 美八 之 幸 志塩塩塩三 澤 沢 佐 佐 佐 佐 野 崎 野 野 藤 藤 直唯 — 晃 — 稔 栄 夫 俊 晃 秀 憲 憲 悠明 明 賀 多多武田田山 治 易 男 明日香 中島 仲中足 豊田 豊澤敬一郎 富田 戸 土 得 徳 時 澤 佐 丸 田 安 希一郎 昭夫 親彦 政子 浄彦 幸雄 テ 和昌吉有 和博伸 男紀洋英行夫 野野野野野 信田田田草上西 西西阪口 富士大 高司 茂 紀 正 豊 利 芳之 恵 邦 英 親 久 久 泰 季 正 美 秀 弘 義 保 勉 安保安矢森守森森森森田田川代脇屋本川 备 昭 武 信 栄 明 信 巧 三 江 司 茂 寛 学 雄 利 義 あけね 渡 渡 渡 渡 踱 脇 和 和 米 米 吉 吉 吉 吉 吉 吉 横 横 横 辺 辺 邊 辺 辺 田 田 久 山 津 田 田 田 川 川 川 山 田 田

農学部創立50周年記念

た。そこで本号ではいる号として発刊いたしまし

ら現在の農学部に至るまただき、兵庫農科大学が

周年を迎えるにいたり、

大学農学部は創立50平成11年をもって神

本年も六篠会報をお届け

六篠会会員の皆様いか

本当に喜ばしいことだと

同窓会事務局への連絡 となりましたので、多く となりましたので、多く のご意見を頂ければ幸い です。また、住所変更等 です。また、住所変更等 です。また、住所変更等 も受け付けておりますの も受け付けておりますの もで、その際にはご連絡く ださい。 それでは最後に、同窓 それでは最後に、同窓

集としてこれほど喜ばしていただければ、会報編

会に同窓生の友好を深めがでしょうか。これを機母校を訪ねられてはいかれますので、久しぶりに

いことはありません。



ると思います。また、

にも読み取っていただけたのか、新しい会員の方

50周年に関わる記念行